

よこすか



編集・発行
横須賀市PTA協議会



特集

家庭教育って？ 失われつつある重要な教育

■ 家庭教育は豊かな成長に欠かせないもの

人が生まれてきて最初に受ける教育は、家庭での教育です。話すことや書くこと、食べること、何かを作ること、絵を描くこと、遊ぶことなど。それはやがて語学や食育、技術や文化など様々な学びに繋がっていきます。その後もずっと親は子どもに学校では教えてくれない様々な事を教えていきますし、地域も子ども会やイベントなどで家庭教育の補助と機会を作ってくれます。

家庭教育は「学校で学ぶ以外の学びのすべて」です。家庭教育は勉強だけではなく、やっていいことや悪いこと、人との接し方、生きていくための知恵、趣味など幅広い学びがあり、豊かな成長に欠かせない重要な教育です。

しかし、スマホが低学年まで普及し、食卓を家族みんなで囲んで話す時間が減り、家庭教育の機会は急激に減っていると思います。また、子ども会や地域のスポーツクラブも少子化や共稼ぎによる役員のなり手不足により減少し、地域での家庭教育の機会も減少しています。

今一度、親子でスマホの電源を切り、食卓を囲んで今日あった事を話し合ったり、地域のイベント、美術館や博物館、図書館に足を運んで、家の中では体験できない学びを得たりして、家庭教育の大切さを実感してみる事をおすすめします。

市P協顧問 櫻井 聡

Information

◆市P協 スマホ・SNSフォーラム よこすか2024 開催します！

「子どもを取り巻くスマホやSNSの実態・
トラブル・安全な使用方法および生成AIの実例」

- 講演会と、神奈川県警察、市教委、市P協の
パネルディスカッション
- ▶日時：12月14日(土)14時～16時30分
- ▶場所：生涯学習センター(まなびかん) 大学習室
- ▶定員：100人
- ▶締切：12月2日(月)(但し定員になり次第締切り)



詳細(市P協HP)

◆市教委 食育講座『給食から学ぶ子どもたちの食育』 /市P協 家庭教育講演会 給食センター見学&試食付

- ▶日程：11月6日(水)、11月12日(火)、11月18日(月)
- ▶時間：10時～11時45分頃
- ▶場所：横須賀市学校給食センター
- ▶定員：各回24人
- ▶締切：9月27日(金)(各回定員になり次第締切り)



詳細(市P協HP)

◆わんぱくフェスティバル2024

- ▶日付：11月17日(日) ▶場所：神奈川県立保健福祉大学

◆市P協 読書推進講演会(市教委委託事業)

『心を育てる読み聞かせ』
～えほんやさんに聞く本の選び方～

横須賀市唯一の絵本専門店「うみべのえほんやツバメ号」
の店主を講師にお招きします。読み聞かせについて
一緒に学びましょう。また、読み聞かせにおすすめ
の素敵な絵本を紹介していただきます。

- ▶日時：10月4日(金)10時～12時
- ▶場所：生涯学習センター(まなびかん) 第1学習室
- ▶講師：うみべのえほんやツバメ号 店主 伊東ひろみ氏
- ▶対象：横須賀市立小・中・特別支援学校PTA会員・
学校司書
- ▶定員：先着60人まで
- ▶締切：9月27日(金)(但し定員になり次第締切り)



詳細(市P協HP)

◆市P協 第2回スマホ・SNS川柳コンテスト募集

- ▶応募資格：●横須賀市立小・中・特別支援学校の全児童・生徒
●横須賀市PTA協議会所属の単位PTAのPTA会員
(保護者・教職員)
- ▶テーマ：スマホ、インターネット、ゲーム、SNSなどの
題材なら何でも。
- ▶締切：2月20日(金)18時まで
- ▶部門：小学校の部、中学校の部、一般の部



詳細(市P協HP)

※市P協=横須賀市PTA協議会 市教委=横須賀市教育委員会

横須賀市PTA協議会

〒238-0006 横須賀市日の出町3-19-16 横須賀三浦教育会館5F
TEL:046-824-1478 FAX:046-824-1480
Email:office@pta-yokosuka.jp

市P協
ホームページは
こちらから



10月～12月にかけて、市P協もイベント
が盛りだくさんです。ぜひ一度参加して
みてください。次回は11月発行です。(事)

■「子どもの長時間利用に悩んで いませんか？」

ケータイ・ネット安全委員会

「子どものスマホの使い過ぎから親子ゲンカになってしまおう」というお悩みをよく見聞きます。しかしこんな時、怒ってスマホを取り上げて問題も解決しません。スマホがやめられなくなる時、脳からはドーパミンという幸せホルモンが出ているのですが、それをコントロールするのは大人でも難しいのです。スマホを管理制限できる機能（スクリーンタイムやDigital Wellbeing）の利用、必要な時には物理的距離をとるなどの対策が必要です。

この時ポイントとなるのが、子ども自身に「自分でコントロールしようという意思」を持たせられるかどうかです。睡眠不足などで生活リズムが狂うと学校に行けなくなり、学力低下やスマホ依存症になる可能性があることを教え、睡眠・食事・運動・勉強など成長に必要な時間を確保した上で、残りの自由時間の中からどのくらいスマホに時間を使うのか、子ども自身に考えてもらいましょう。これはスマホに限らずゲームについても同じです。

また、親子関係も大切です。なぜ子どもはスマホやゲームに夢中になるのか？今楽しんでいるゲームやSNSは何なのか？子どもの好きなゲームを一緒に楽しんだり、子どものSNSアカウントをフォローしたり、分からないことがあれば子どもに教えてもらうなど、気軽にいつでも相談しあえる関係を築くことが大切です。子どもの気持ちや人間関係を理解することが、子どもを危険から守ることにつながると思います。

また、スマホ利用時間が長い親ほど、子どもの利用時間も長いという傾向があります。親自身もスマホとの付き合い方を考え「親子で過ごす時間を大切にすること」を忘れないようにしたいものです。



■「本で親子の楽しい時間を！」

学校図書館ボランティア活性化委員会

「家庭教育」というと少し堅苦しく思うかもしれませんが、私たちの委員会がおすすめる家庭教育は、もっと気軽に楽しいものです。「ためになる本を与えよう」とか「読書習慣を身につけさせたい」などと気負う必要はまったくありません。ゲームや動画など楽しいコンテンツがあふれる中で「本を読ませる」なんて難しいですし、勉強目的で子どもに本を読ませようと思ってもなかなかうまくいかないものです。

そこで私たちがおすすめるのは、本を「遊び道具やコミュニケーションツールの一つ」と考え、親子の楽しい時間を作ること。親が純粋に面白いと感じた本を読みきかせて、子どもと一緒に楽しむことです。楽しむことが大切なので、どんな本でも、どんな読み方でもかまいません。読み聞かせは、小学校の高学年でも楽しんでもらえます。もしお子さんが中学生なら、親が感動した本を見せて「これ、すごく良かったよ」と話してみるのもいいと思います。

親子のコミュニケーションを楽しむことを目的にすれば、ゲームや動画とは違った楽しさがありますし、親が何をどう感じているか間接的に伝えることもできます。そして実はこれが、子どもの人間形成の土台につながるのではないかと思います。

NHK「チョコちゃんに叱られる」で紹介されていましたが、親子が一緒に過ごすことができる時間は、母親が約7年6か月、父親が3年4か月なのだそう。意外にあつという間です。子どもと楽しく豊かに過ごす「本の時間」は、私たち親にとっても、かけがえのない大切な時間になるのではないのでしょうか。



第1回 よこすかPTAしゃべり場 開催しました！ PTA活動、運営向けのお悩み・相談の場



- 日時：令和6年7月20日(土) 13:00～16:00
- 場所：生涯学習センター（まなびかん）大学習室
- 参加者：横須賀市立小・中学校 運営役員29名 出席校21校

当日は4グループに分かれ、50分×2回のディスカッションを行い、皆さん活発に意見交換をされていました。話し合われた内容は「PTA会費の使い途」「委員会やサポーター制の在り方」「イベントの開催」が多かったようです。また具体的事例として「田戸小のPTAパンフレット」「坂本中のスポーツタオル配布」「田浦小の防災・学校お泊まりイベント」などが紹介され、皆さん興味を持たれていました。

最後に石井市P協会長より「活発な情報交換、意見交換ができたと思います。今年はあと9月と11月にしゃべり場を開催するので、またぜひ参加してください。今年度より『よこすかスマイルPTA』をスローガンとして活動しています。私たち大人が笑顔になれば、子どもたちにも伝わるのではないかと。子どもたちが笑顔になるように、私たち大人も笑顔でいることが大事だと思っています」と締めくくりました。

スマホ・SNSポスターの応募 ありがとうございました。



最優秀作品は、スマホ・SNS川柳コンテストのポスターとなって、10月頃から各学校に貼りだしていただく予定です。結果は市P協HPにも掲載予定です。

よこすかPTAサポートより

これからPTAも秋のイベントが多くなります。PTAが主催・共催する行事の活動中に事故などに遭われた場合は、各PTAが加入されているPTA活動補償制度（すかサポ補償）より保険がおりる場合があります。PTA活動中にお怪我などされた場合は、所属する学校のPTAにご相談ください。